

令和5年度診療科別目標発表

リハビリテーション科

医師の紹介



藤枝市立総合病院
Fujieda Municipal General Hospital

リハビリテーション科

| No. | 氏名 | 役職等 |
|-----|-------|--|
| 1 | 片山 直紀 | 診療部 リハビリテーション科 科長 診療技術部 リハビリテーション科 科長 医学博士 日本リハビリテーション医学会認定専門医・指導医 義肢装具等適合判定医師 日本義肢装具学会認定 義肢装具専門医 日本障害者スポーツ協会公認 障害者スポーツ医 日本ボツリヌス治療学会認定施注医(上下肢痙縮) ボトックス®施注医師(上肢痙縮・下肢痙縮) ゼオマイン®施注登録医師 |
| 2 | 塚本 穂波 | 医長 日本リハビリテーション医学会認定専門医 義肢装具等適合判定医師 ボトックス®施注医師(上肢痙縮・下肢痙縮) ゼオマイン®施注登録医師 |

中期目標・令和7年度に目指す姿



藤枝市立総合病院
Fujieda Municipal General Hospital

リハビリテーション科



「超急性期」から「障害のかかりつけ医」まで
リハビリテーション医療の確立

- ・ 超急性期に対応したリハビリテーションの実施
- ・ 専門性の高いリハビリテーションスタッフの育成
- ・ 専門性を活かしたリハビリテーション科外来の充実
- ・ リハビリテーションに関し円滑な地域連携を図る

「障害のかかりつけ医」としての外来



藤枝市立総合病院
Fujieda Municipal General Hospital

リハビリテーション科の専門性を活かした外来

• 高次脳機能障害

静岡県高次脳機能障害者地域基盤整備事業 協力医療機関
静岡県高次脳機能障害専門家会議 メンバー

• 義肢装具

日本義肢装具学会 義肢装具専門医
義肢装具等適合判定医師

• 痙縮治療

日本ボツリヌス治療学会 認定施注医

• 嚥下障害

日本リハビリテーション医学会 嚥下障害実習研修会
嚥下機能評価研修会 PDN VEセミナー

リハビリテーション医療のかたち



藤枝市立総合病院
Fujieda Municipal General Hospital

リハビリテーション科

急性期

- ・ 超急性期リハビリ（救急・ICU）
- ・ 疾患別リハビリ（運動器・脳・呼吸・循環器）
- ・ **がん**のリハビリ（周術期・回復的・維持的・緩和的）
- ・ 摂食嚥下リハビリ

回復期

- ・ 機能改善（運動機能、高次脳機能）
- ・ ADLの改善
- ・ 生活期を見据えた退院調整

生活期

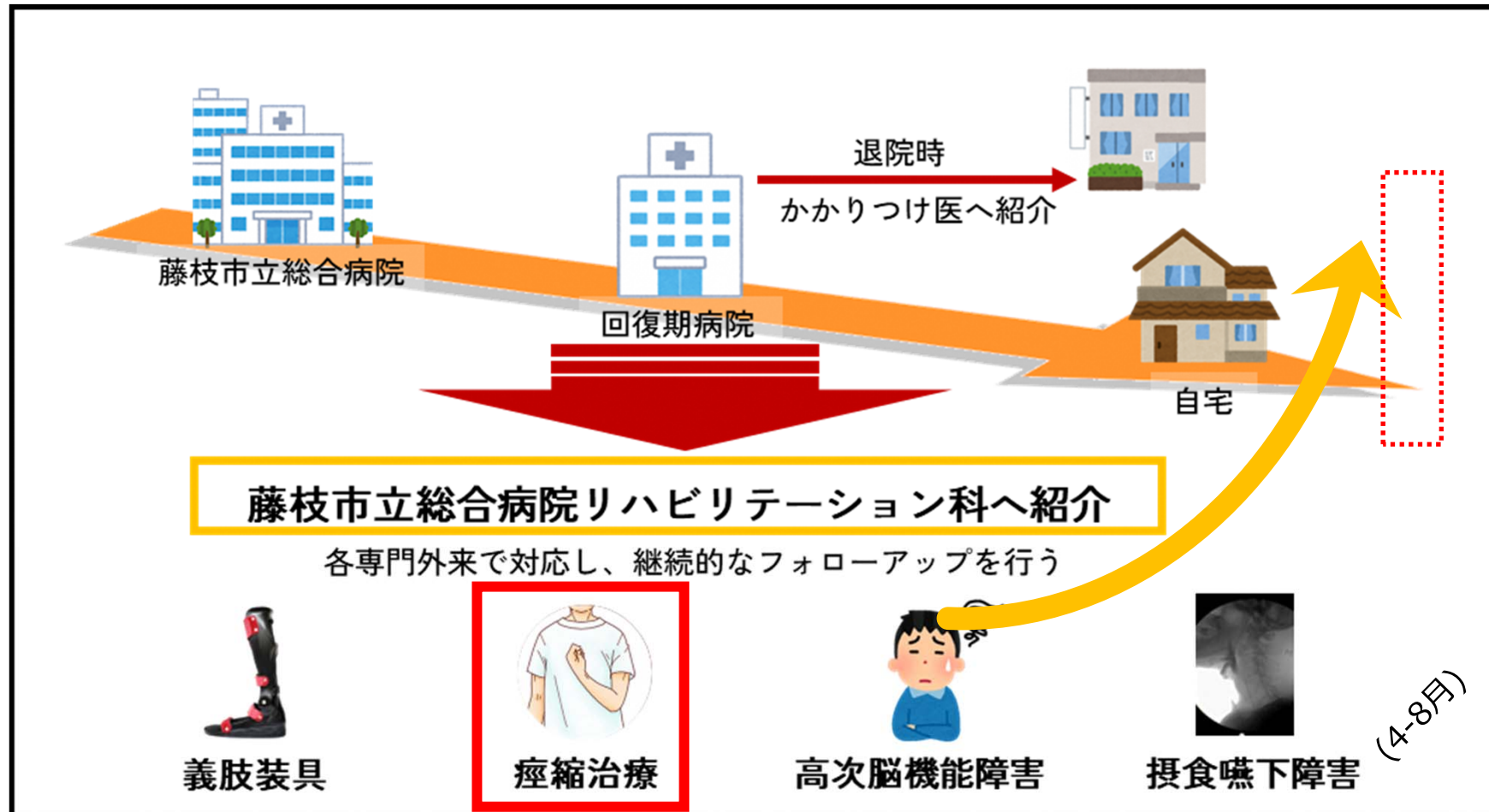
- ・ 機能・ADL改善
- ・ **重度化防止**
- ・ 再発予防
- ・ **社会復帰**
- ・ **社会制度の利用**

「障害=福祉」ではなく
医療的アプローチが必要

「障害」のかかりつけ医
||
リハビリテーション科外来

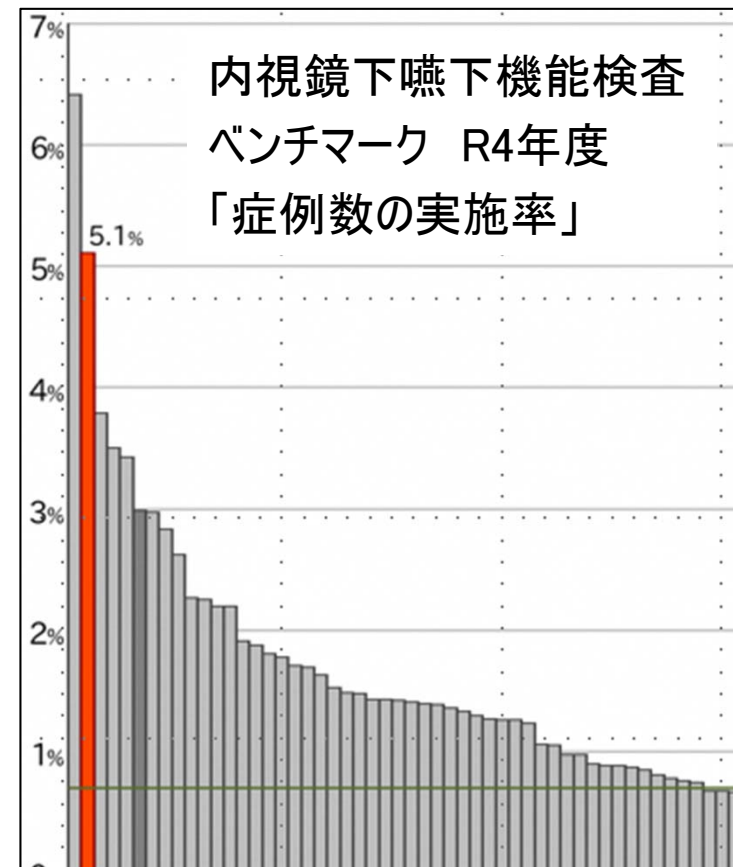
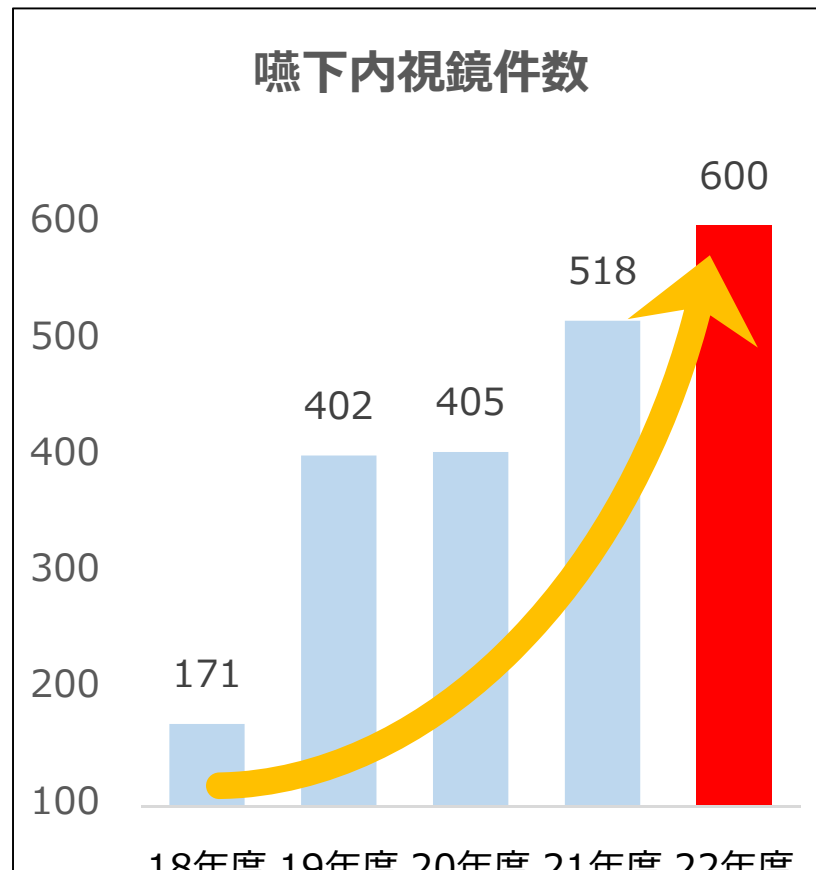
リハビリテーション科

近隣回復期病院との連携



リハビリテーション科

嚥下内視鏡検査診療実績



院内から地域へ つながり・理解を広める

短期目標・令和5～6年度の目標

リハビリテーション科

| No. | 項目 | 目標 |
|-----|---------------|--|
| 1 | 超急性期リハビリテーション | 早期から「治療の一部」としてリハビリを実施 |
| 2 | がんのリハビリテーション | 周術期～緩和まで対象に包括的なアプローチを行う |
| 3 | 脳卒中リハビリテーション | 1日でも早い離床・歩行訓練を目標とし、チームとしての治療を行う |
| 4 | 地域連携の推進 | 診療所や行政、介護施設と協力したリハビリテーション診療体制の確立を目指した話し合いの充実 |
| 5 | 外来の充実 | 地域のニーズを受け止められる外来体制の構築 |

決 意

**入院からはじまる
早期リハビリテーションと、
地域に根差した専門外来で
生活機能の維持・改善を支えます**